

小樽クルーズ客船歓迎クラブの皆様へ

会員の皆様、御無沙汰しております。新型コロナウイルス感染症の影響で、クルーズ船の小樽港への寄港は2年連続中止となりました。

しかし、日本国内では一部地域でクルーズ船の運航が再開されております。今回は、現在の国内におけるクルーズ船の状況についてお知らせいたします。

■■現在の国内におけるクルーズ船の運航状況■■

令和2年2月の国内における新型コロナウイルス感染症の確認から早2年が経ちますが、邦船3社（につぼん丸、ぱしふいっくびいなす、飛鳥Ⅱ）につきましては令和2年11月以降、休止していた運航を再開しております。

運航に際しては、各船社において船内の消毒・換気やソーシャルディスタンスの確保をはじめ、乗客全員に対してワクチン接種済であることの確認に加えて乗船当日のPCR検査を実施しており、万が一船内で感染者が発生した場合の対応につきましても、寄港先の港と連携して感染拡大防止に努める体制を構築するなど、徹底した感染症対策を行っております。

令和3年には、小樽港への寄港も予定されておりましたが、感染状況の再拡大もあり、残念ながら中止となってしまいました。今年こそ、小樽港への寄港再開が実現することを期待しております。

一方、外国船社のクルーズ船につきましては、国外ではすでに運航されている地域も増えてきておりますが、日本国内では現在に至るまで運航が休止されています。こちらの再開時期については未だ不透明な状況です。

このような中、昨年4月に、外国船社を中心とした日本国際クルーズ協議会（JICC）が設立され、令和5年までにクルーズ人口をコロナ前の令和元年と同等まで戻すことを目標に、国際クルーズの再開に向けた取組を実施しており、早期の再開が期待されます。

■■につぼん丸・ぱしふいっくびいなす・飛鳥Ⅱ 3年ぶりに小樽港寄港■■

大人気の小樽港発着クルーズ「につぼん丸・飛んでクルーズ北海道」が3年ぶりに実施されることが発表されました。令和4年は8月から9月にかけて、計4本の発着クルーズが実施される予定です。また、ぱしふいっくびいなす・飛鳥Ⅱの7月の小樽港寄港も発表されており、久しぶりに小樽港でクルーズ船が見られることが待ち遠しいです。

小樽港といたしましては、安全・安心なクルーズ船の受入に向けて、感染症対策ガイドラインを遵守しつつ、船会社及び関係機関と連携した受入体制を整えてまいります。



【お問合せ先】

小樽港クルーズ推進協議会（小樽市産業港湾部港湾室港湾振興課）

TEL：0134-23-1107 FAX：0134-23-1109 E-MAIL：kowan@city.otaru.lg.jp